【個 人】　　提　出　　令和１年８月12日

山　行　報　告　書

山行報告提出者　：　鈴　木

山　域・山　名：　光　岳　2,592m　（静岡県静岡市葵区）	
入山日：令和１年８月8-10日　(木-土)　２ 泊３日　　帰宅日：８月 10 日	
プラン担当者　正：　鈴　木　　副：	茶臼岳山頂より上河内岳(右).聖岳(左).中奥は赤石岳か？
参加者	Ｌ報記：　鈴　木　（単独行） 男　　１名 、　女　　名、　計　１ 名
天候：8/8　晴れ 8/9　晴れ　夕方雷雨（実害無し） 8/10　晴れ時々曇り	
８月７（水）	集合時間：　23：00 竹橋発登山バス・毎日アルペン号にて出発
８月８日（木）	5：40 沼平着、6：15 発―7：00 畑薙大吊橋―8：30 ウソッコ沢小屋―10：00 横窪沢小屋―12：50 茶臼小屋（テン泊）　行動 6h35m
８月９日（金）	5：00 起床、撤収―6：20 発―6：50 茶臼岳―9：00 易老岳―10：30 三吉平―11：50 光小屋―12：30 光岳―12：40 光小屋（テン泊）　行動 6h20m
８月 10 日（土）	02：00 起床、撤収―03：30 発―4：15 三吉平―5：30 易老岳―8：00 茶臼岳―8：30 茶臼小屋―9：50 横窪沢小屋―10：50 ウソッコ沢小屋―12：20 畑薙大吊橋―13：00 沼平着、13：50 発高速バスで新宿経由帰宅　行動 9h30m
荒天候時のエスケープルート：　引き返す、または各近隣の小屋で待機、	
装備と食糧	共同装備：　なし
	個人装備：テント一式、マット、シュラフ（カバー含）、ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、替衣類、医薬品、蛭避スプレー、ガス一式、コッヘル、コップ、テルモス（水）、浄水器、グローブ、スパッツ、ストック、帽子（日除け）、カメラ
	個 人 食：食事×３日分、、行動食、非常食
感想	**８月８日**　想像通りの樹林帯、展望無し、風無し、日陰ではあるもののうだるような暑さの中、延々と続く登り坂に立ち向かった。沢沿いの道ではコンクリート土台のつり橋が何か所も崩壊しており、自然の驚異と南ア独特の地盤の悪さを思い知った。渓流はいかにも岩魚が待ちわびている見事な流れで釣り具不携帯を悔やんだ。やっとの思いで茶臼小屋に到着しテント設営したが、冷たい水場がふんだんにありザックに忍ばせたホップのきいた飲料を思う存分冷やし至福のひとときを過ごした。 **８月９日**　光までは稜線歩きなので昨日よりは楽だろうという己の甘い考えはすぐに吹き飛び、ここは南アだったんだと思い出させる独特の上り下りが今日も続く。コースから少し外れた仁田岳やイザルガ岳などを寄ろうかという考えは微塵も起らず、ひたすら光の小屋の出現を待ちわびながら歩を進めた。光到着にリーチがかかる静高平の水場では前日同様ホップ飲料をキンキンに冷やしたが、温まらないように急ごうと思ったとたん足にターボが装着され瞬く間に今宵の宿（テン泊）に到着した。夕方雷とともに大粒の雨が落ちてきたがすでにホップ飲料により夢の中をさまよっている者にとっては、心地よい子守歌でしかなかった。 **８月 10 日**　出発地沼平発 13：50 の予約バスを逃すと一夜明かしは必至、緊張のためか２：00 起床にもきっちり対応することができ３：30 満天の星空の下、下山を開始した。下山とは言えコースタイム９時間以上で前述のとおり大きな登り返しが待ち受けており要所要所の通過時間を気にしながら歩いた。幸いほぼ予定通りで発車 50 分前に到着でき新宿までの長い帰路につくことができた。なおこの地域、横窪沢小屋番曰く、蛭はいないとのこと。　以　上